

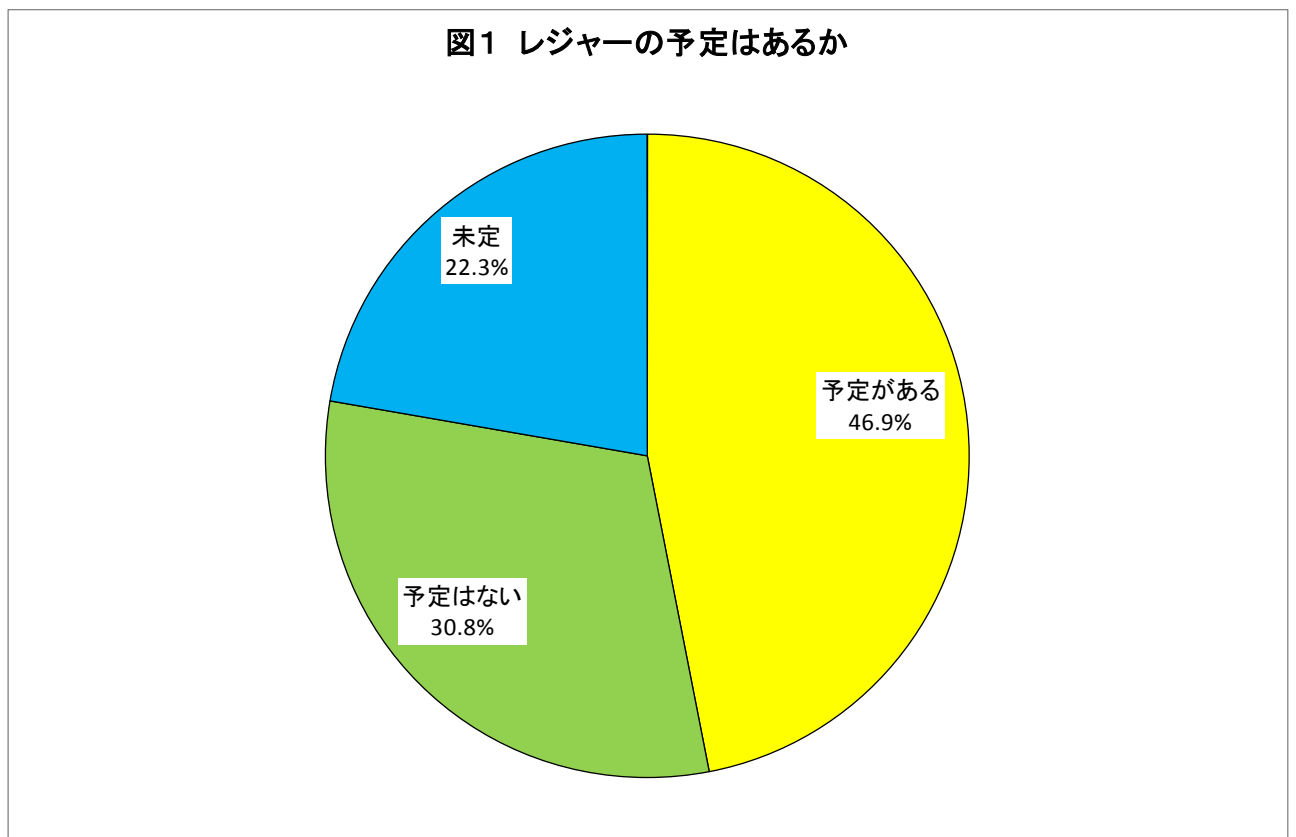
「ゴールデンウィーク期間中のレジャー計画に関するアンケート調査」結果

県内景気に明るい兆しが見え始めた。このような状況下において、個人のレジャー行動の実態と関連する支出の動向を調査するため、滋賀銀行の店頭にご来店のお客様を対象に4月中旬に「ゴールデンウィーク期間中のレジャー計画に関するアンケート」を実施し、このゴールデンウィーク期間中にどのようなレジャーの計画が立てられているのか調査、分析を行った。

- ◇調査名：「ゴールデンウィーク期間中のレジャー計画に関するアンケート」
- ◇調査時期：4月17日(水)～19日(金)
- ◇調査対象：滋賀銀行本支店にご来店のお客様（県内在住者）
- ◇有効回答数：673人

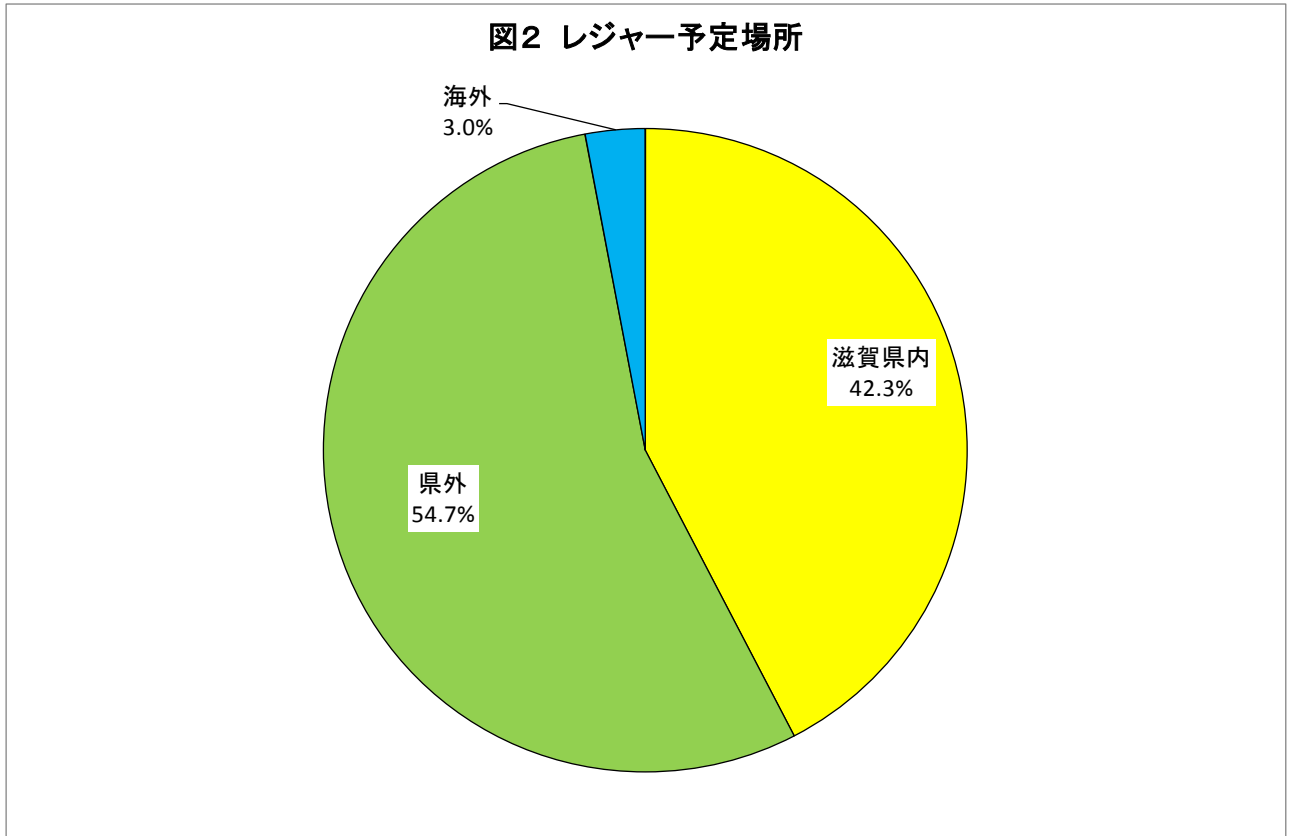
◆4割がレジャーの予定を計画

「ゴールデンウィークにレジャーの予定があるか」と尋ねたところ（図1）、「予定がある」と回答した人は4割（46.9%）で最も多かった。また、「予定はない」が30.8% 「未定」が22.3%となった。



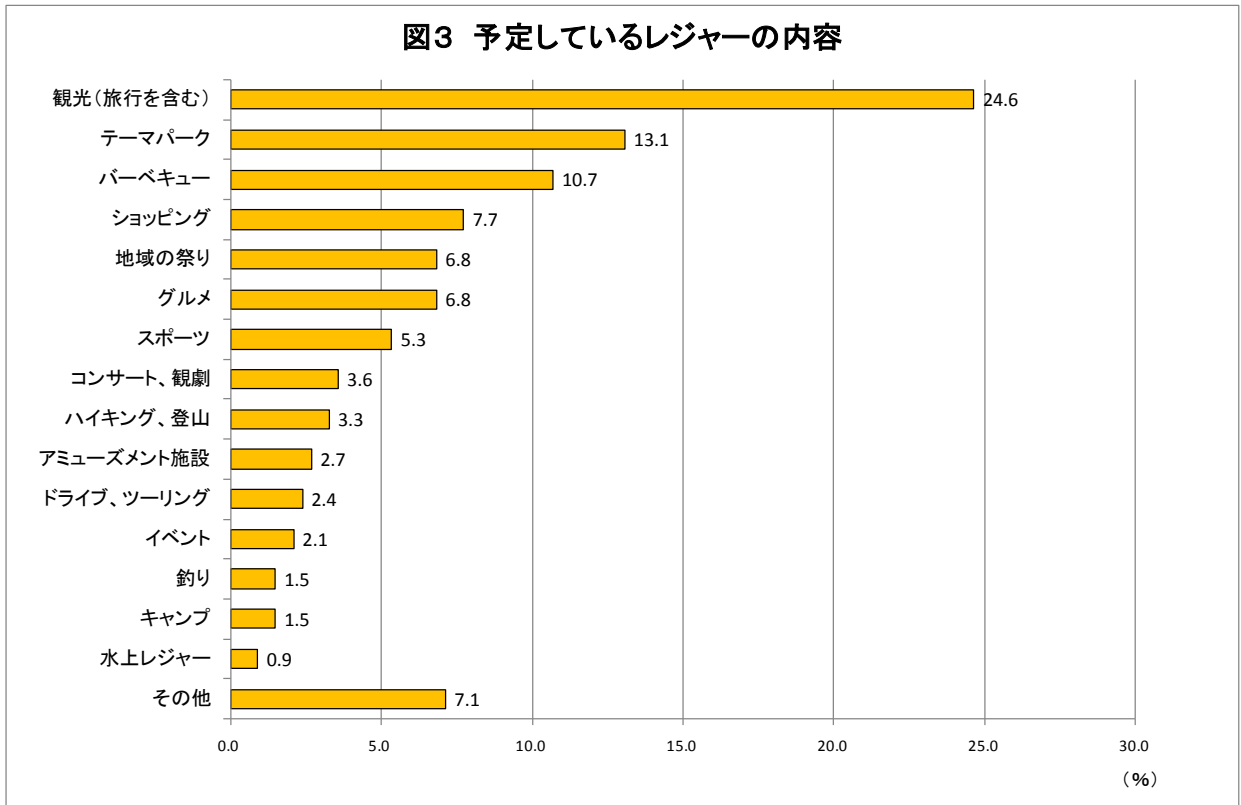
◆レジャー場所は「国内」が9割

「予定しているレジャーの場所」について尋ねたところ（図2）、「県外」と回答した人は5割超（54.7%）、「滋賀県内」と回答した人は4割超（42.3%）で、「県外」と「滋賀県内」合わせて97.0%と国内でのレジャーを計画している人が9割を超えた。今年のゴールデンウィークは3日間の平日がはさまり、長期の休暇を取りにくいこと、また、最近の円安傾向も懸念されることから、「海外」でのレジャーを計画している人（3.0%）は少ないようだ。



◆「観光」がトップ

「予定しているレジャーの内容」について尋ねたところ（図3）、「観光（旅行を含む）」（24.6%）が最も多く、次いで「テーマパーク」（13.1%）、「バーベキュー」（10.7%）、「ショッピング」（7.7%）と続いた。アウトドアでは「釣り」（1.5%）や「キャンプ」（1.5%）などよりも、大人数で楽しめる「バーベキュー」を計画している人が多いようだ。



◆若者層は「バーベキュー」、ファミリー層は「テーマパーク」、中高年層は「祭り」

「予定しているレジャー」を年代別で見ると（図4）、10～20歳代の若者層では、「観光（旅行を含む）」（26.4%）が最も多く、次いで「バーベキュー」（17.1%）と続いた。30～40歳代のファミリー層でも「観光（旅行を含む）」（19.3%）が最も多かったが、2番目は「テーマパーク」（17.6%）となり、テーマパークが他の層よりも比較的高くなった。また、50～60歳代の中高年層では「観光（旅行を含む）」（29.5%）、「地域の祭り」（12.8%）、「ハイキング、登山」（9.0%）となった。全ての年齢層で「観光（旅行を含む）」が最も多かったが、2位以下はそれぞれの特徴が出る結果となった。

